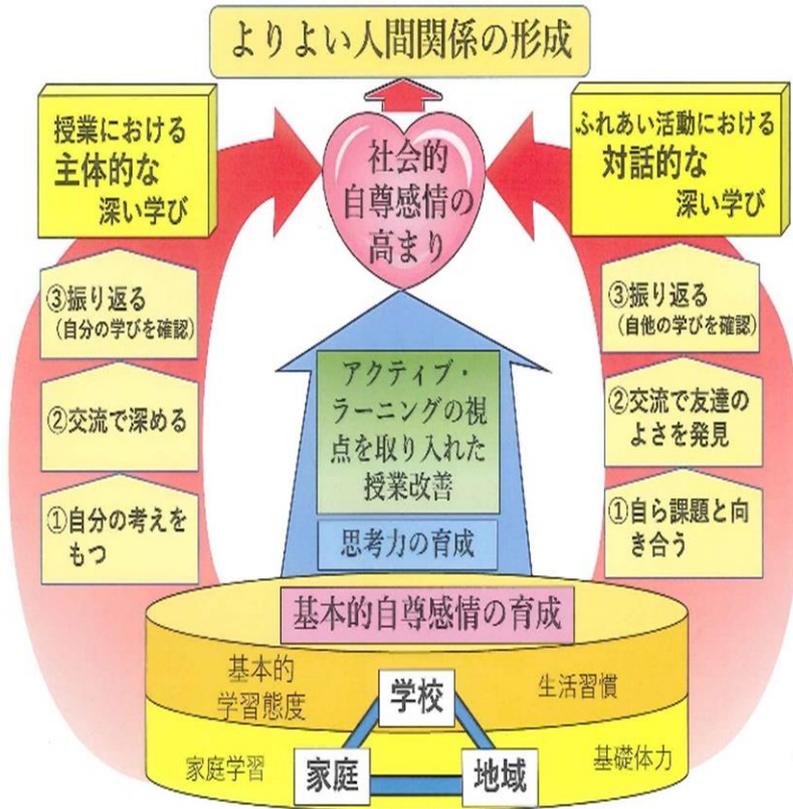


1 研究主題

学びの深まりが実感できる教育活動の創造Ⅱ
 —ものの見方・考え方を広げ、深める指導方法の工夫—

2 研究の具体



○ 昨年度の思考力の育成をめざした授業を基に思考ツールの活用や支援について検証する。

○ 自分の考えと友達の考えを交流する場を確保し、学び合う価値を自覚させ、社会的自尊感情の育成を図る。

○ 思考力育成の視点をアクティブ・ラーニングの視点と結びつけた取組を行う。

○ ふれあい活動（朝活動・縦割り活動）では振り返りの充実と活用、改善を試みる。

思考ツールの活用方法を工夫した授業改善

応用する

【5年算数 平行四辺形の面積】



今までに習った図形の面積の求め方が使えないかな。

比較する・分類する

【3年算数 あまりのあるわり算】

6L入りのバケツに水を入れて水そうに入れます。4Lの水そうがいっぱいになるには何回水を入れますか。

746ページの漢字ドリルを1日に5ページずつします。何日で、最後までできますか。

9日ですか？
)日です。

9日ですか？
)日です。

わけは、あまった()
 わけは、あまった()

からです。
 からです。

どれも式は同じですが、余りの処理の仕方です。2通りに分けてみましょう。

順序立てる

【2年国語 ビーバーの大作】



この順番が違っていたらビーバーのダムはできるかな。

3 成果と課題

- 話し合う場面を確保し、話し合うためのテーマや材料の与え方を工夫したことにより、より深い学びにつながった。
- 思考ツールを意識したことにより、児童の変容を感じるとともに、授業者としての自分の変容を感じる教員も見られた。
- 研究授業では一定の成果が出ているものの、日常の授業において常に思考ツールを意識した授業ができていない。また、児童の実態、授業の内容にふさわしい思考ツールかどうか吟味する必要がある。

